

## 1 対象の概要と事業導入のねらい

「阿武萩・やまみちゃんグループ」（以下、グループ）は萩市・阿武町で農林水産物を使った加工品製造販売や食堂経営に取り組む農山漁村女性組織や個人の15会員のネットワークです。平成25年の結成以来、阿武萩地域に根差した魅力ある商品づくり・活動についての研修会の開催、地元イベントやスーパーマーケットでの合同販売を行い消費者交流・PR活動も行ってきました。しかし、メンバーは60～70歳代のいぶし銀世代が中心となり、以前と同様の活動は難しくなっており、見直しが必要となっていました。そこで、これまでの活動を振り返り、いぶし銀世代が元気で無理なく取り組み、支え合える活動（会員個々及びネットワーク組織「阿武萩・ネットワーク」の活動）の方法を検討し、これからの活動継続・発展をめざす取組を支援しました。

## 2 具体的な取組内容

### (1) スーパーマーケットでの合同販売方法の検討

グループは平成26年から萩市内のスーパーマーケット1店舗で月1回程度、対面での合同販売を行っていましたが、近年、出店会員は減少傾向でした。

合同販売を行っている店舗が令和4年度冬季にリニューアルオープン予定であった為、このタイミングをとらえ、グループでは、店舗の担当者の方から情報収集・相談を行いながら、対応策を検討しました。会員からは「メンバーが高齢化・減少し自分の組織の運営が手一杯で早朝からの合同販売参加が難しくなった。」「固定客ができたので引き続き出店しお客様への対面販売を続けたい。」「長年の合同販売で商品の認知度は上がった。イベント販売も良いが卸売販売先をふやしたい。」等の声がありました。

会員で話し合い、店舗とも相談し、令和5年1月の店舗リニューアル後に合同販売の試行を行いました。その結果、合同販売は年数回に回数を減らすが、これ以外に対面販売を希望する会員は店舗と個別に相談する方向となりました。また、合同販売だけでなく、店舗卸売の相談ができるよう、グループから会員に情報提供を行い、販路確保・拡大に向けたパイプづくりに努めました。

### (2) 阿武萩・やまみちゃんグループ会員の学びの場づくり

グループ会員はそれぞれ加工品製造・食堂経営等の事業に取り組んでいます。個々の事業継続・発展が大切である為、共通課題を取り上げ、学びの場を作りました。グループが合同販売を実施している店舗代表者を講師に迎え、地域農林水産物を生かし消費者ニーズにこたえる商品づくりについて研修を行いました。また、会員の食堂経営事例紹介を行い、運営の工夫等についての研修や会員相互の情報交換を行い、個々の事業の参考としました。



【商品づくりの研修会】

## 3 取組の成果

グループがこれまで取り組んできた合同販売を取り上げ、各会員の実状や意向把握を行いグループの対応方向を決定することを通じ、自分達の実情・年代に合う今後のネットワーク活動を再考できました。新たに卸売販売を行う会員も出て販路拡大につながりました。また、地元店舗関係者や会員を講師に会員共通課題についての研修を行うことで、個々の事業発展の一助となり、相互の連携を強めることができました。